

本日のワークショップ

令和5年度第3回 市民活動推進委員会

1

1. ワークショップのねらい

市民活動の定義を再確認するとともに
参加者や活動範囲を広げるための
方策や課題などについて討議します

2

2. 本日のゴール

市民活動の参加者や活動範囲を広げる
方策の推進や課題解決のため、
市とどのような協働をしていきたいかを選定

3

3. ワークショップの形式

ブレインストーミング
と
KJ法による
ワークショップ形式

4

3. ワークショップの形式

ブレインストーミングとは？

- グループで自由に多くのキーワードを出し合うことで、メンバーの発想を相互に刺激、誘発し、新しいアイデアを生み出し、発散する手法です。
- メリット① 質より量を重視するため、様々なアイデアが生まれます。
- メリット② 互いの意見を聞きあうことで、様々な気づきがあり自身から新しいアイデアが生まれます。

5

3. ワークショップの形式

KJ法とは？

- 付箋等を利用して、大量のキーワードを整理・集約し見える化する手法です。
- メリット① 大量のキーワードを整理・集約することで、より本質的なアイデアを生み出します。
- メリット② 対話の内容を図解化することで、客観的な情報の整理ができます。

6

4. 本日の流れ

(1)説明・質疑	15分
(2)対話	55分
前半（25分）	
休憩（5分）	
後半（25分）	
(3)振り返り（質疑含む）	16分
(4)次回へ向けて	5分

7

5. 本日のワークショップについて

本日の ワークショップの 作業について

8

5. 本日のワークショップについて

テーマ①

市民活動とはどのような活動か？
また、市にどのような期待を
持っているか？

9

5. 本日のワークショップについて

テーマ②

市民活動の参加者や活動範囲を
広げる意義は？
その具体的な方策や課題は？

10

5. 本日のワークショップについて

テーマ③

テーマ②で検討した方策の推進や課題解決のため、市とどのような協働をしていきたいか？

11

5. 本日のワークショップについて

※テーマ①～③に関する言葉の定義（さいたま市市民活動及び協働の推進条例）

【市民】

市内に居住し、若しくは滞在し、又は通勤し、若しくは通学する者をいう。

【市民活動】

市民が地域又は社会における課題の発見及び解決のために、自発的かつ自主的に行う非営利で公益的な活動をいう。ただし、宗教活動、政治活動及び選挙運動に係る活動を除く。

12

5. 本日のワークショップについて

※テーマ①～③に関する言葉の定義（さいたま市市民活動及び協働の推進条例）

【市民活動団体】

市民が自由な意思に基づいて集まり、自律的に市民活動を行う団体をいう。

【協働】

市及び市民活動団体が、地域又は社会における共通の目的の実現及び共通の課題の解決に向けて、対等な立場で連携を図りながら協力して事業を行うことをいう。

13

5-1. テーマに沿ったキーワードを付箋に書き出す

【手順】

付箋にキーワードを書き出します

【ルール】

- ・付箋にはキーワードで書き出しを行います（キーワード≠単語）
- ・書き出す内容が長い文章にならないように注意します
- ・キーワードだけだと伝わりづらい場合には、（ ）書きで補足説明を書いても差し支えありません
- ・誰が見ても内容が分かるような書き方をします
- ・書き出しは無言で行います

【例】理想の市民活動とは？



行政

→行政がどうするのか
分からない



行政と
協働する

→“誰”が“何”をするのか
が分かる

14

5-2. グループ内の「対話で意見を共有」

【手順】

- ①付箋を順番に模造紙に貼り出しながら、自身の意見を話します
- ②グループで意見を共有します
- ③対話の中で、新しい発想があった場合は、青色の付箋に記入し貼り出します

【例】理想の市民活動とは？

市民活動団体が
地域の人や地元の企業
行政と気軽に連携できる
市民活動が理想かな！

地域の人
と連携

地元企業
と連携

行政と
連携

気軽に
連携

信頼関係
の構築

お互い信頼のある
関係だと連携に
つながりやすいね！

15

5-2. グループ内の「対話で意見を共有」

【ルール】

- ・ 1人1分以内で、話します
- ・ 他の人が話しているときに、同じだと思った付箋があれば、貼り出された付箋の近い場所に、自身の付箋を貼り出します
- ・ 他の人が話しているときに、気づいたこと、思いついたことがあれば**青色の付箋**に書いて貼り出します

16

5-3. 似た意見をグルーピング

【手順】

- ①キーワードの「意図が近いと感じる」付箋を模造紙にまとめます
- ②まとめたグループにタイトルをつけます

【例】理想の市民活動とは？



5-3. 似た意見をグルーピング

【ルール】

- ・タイトルには付箋を使用せず、模造紙に直接書きます
- ・タイトルは一言で内容が伝わるようなものを書きます
- ・すべての付箋を無理やりグループ化させる必要はありません
- ・付箋は重ならないように、貼り付けます

【例】理想の市民活動とは？



18

5-4. グループの意見を選出

【手順】

- ①グループワークの成果を踏まえ、本日の3つのテーマについてグループの意見を選出します
- ②グループで選出した意見を用意されたワークシート（A2用紙）に書き出します

【例】理想の市民活動とは？

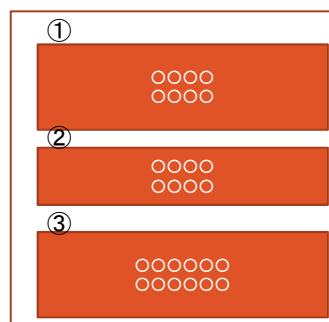
- ・ 負担がなくて、やりがいがたくさんある楽しい市民活動！
- ・ 多様な主体と連携することで新たな楽しみが生まれる市民活動！
- ・ 活動する団体に若者が多くて、世代交代がしっかりしている市民活動！



5-4. グループの意見を選出

【ルール】

- ・ 選出した文章は、箇条書きでワークシートに記載してください
- ・ 文章は、付箋・グループのタイトルなど、どれでも構いません
大切だと思ったものを使用します
- ・ 文章を作成する際は、誰が聞いても分かる
簡潔なものを意識します



20

6. 振り返り

*すべてのワークショップが終わりましたら、各グループ順番に模造紙とワークシートを貼り出し、ワークショップで選出した文章を**2**分以内で発表します

*発表の際は、その文章を選出した

理由（グループの意見）も発表してください

*各グループ発表が終わりましたら、質疑の時間を1分間とります

21

7. 留意事項

*ワークショップの手順は参考に紹介しましたが、必ずしも手順に沿う必要はありません。
ワークショップがしやすいように、進行は自由に
進めていただいても構いません。

22

7. 留意事項

対話の心得

- * 人の話に耳を傾けることが大切です。
- * 自分ばかり話しません。
- * 頭から否定しません。
- * 楽しい雰囲気を大切にします。



23

8. グループ、席次、進行など

- * 委員を無作為にグループ分けしています
- * 席次表にグループが記載してあります
- * 各グループの進行役を委員長が指名します
- * 進行役はグループのメンバーが発言できる場づくりを行います

24